

様式1 (第2の2関係)

営農計画認定申請書

平成 年 月 日

神奈川県知事 殿

郵便番号 〒

申請者住所

(ふりがな)
氏 名

印

電話番号

生年月日 年 月 日生 (満 歳)

かながわ農業サポーター事業実施要領第2の2に基づき、次の営農計画書の認定を受けたいので申請します。

なお、認定を受け営農する農地は、耕作放棄等することなく、営農計画書に基づき耕作します。

営農計画書

1 就農時における農業経営又は農業従事の態様に関する目標

① 将来の 農業 経営 の 構 想	
-------------------------------------	--

② 就農時 にお ける 目標 (年後)	営農部門		営農希望地 (参考)		営農希望 時 期	年 月 (以降)	
			営農希望地までの距離・通作方法・時間 (参考)		km ・ ・ 分		
	営農・経営 形態						
	営農規模	a					
	作 目	1	2	3			
	農産物販売 金額の目標	万円/年					
	農業労働力 (家族の状況)	氏 名	続柄	年齢	年間農業従事日数		
<p>※営農を手伝う人がいる場合は、その全ての人を記載し、年間農業従事日数をあわせて記入すること。</p> <p>※家族の状況については、営農の手伝いの有無に関係なく必ず記入すること。 (営農を手伝う場合は、年間農業従事日数を記入すること。)</p>							

2 実施要領第2の1の(1)ア及びイの認定要件を有する者に関する事項

① 経 歴		経 歴 1	経 歴 2
	職種		
	会社等の名称		
	上記の所在地		
	在職期間		
	うち認定要件を有 する事業に従事し た期間		
	認定要件を有する 事業の内容		
	部署等の名称		
	退職(予定)年月日		
	資格等		
<p>※認定要件を証明する書類等又は要領の運用 参考様式4号を添付すること。</p>			

② 知識 及び 技能 の 内容	
--------------------------------	--

3 1の目標を達成するために必要な農業の技術又は経営方法を実地に習得するための研修その他の就農の準備に関する事項（実施要領第2の1の(2)）

① 過 去 の 農 業 教 育 ・ 研 修 経 験	学校教育・ 地方公共団 体等実施・ 施設研修	学校・研修先の名称	所在地	教育・研修期間	
		教育・研修内容			
	農家等実務 研修	研修先の名称	所在地	研修期間	
		研修内容			
	※研修機関の修了証等又はサポーター要領の運用別記様式1号を添付すること。				

② 現在実施中の農業教育・研修状況	学校教育・地方公共団体等実施・施設研修	学校・研修先の名称	所在地	教育・研修期間
	農家等実務研修	研修先の名称	所在地	研修期間
		研修内容		
	※研修機関の修了証見込み等又は現時点におけるサポーター要領の運用 別記様式1号を添付すること。			
③ 営農準備状況	年 月	営農準備の状況	内 容	
	※現状で所有している農業機械、資材等を記載すること。			

4 1の目標を達成するために必要な施設の設置(予定)、機械の購入その他の就農時においてとるべき措置に関する事項

① 営農開始のための事業計画 (購入する農業機械・資材等)	内容(項目)	規模(能力)・構造等	時期(予定)	費用(予定) 円

5 その他就農関連事項

① 就 農 相 談 状 況	相談機関名	
	相談年月日	
	相談内容	
※就農に関する相談を行政機関等に行ったことがある場合は、その相談状況等を記載すること。		
② そ の 他		
	最近の体調はいかがですか。（該当する項目に○をつけること）	
	食	欲（あ　　る　・　普通　・　ない　）
	睡	眠（よく眠れる　・　普通　・　不眠　）
健康状態全般	（良　　好　・　普通　・　不良　）	
※現在の健康状況及び営農に対する意欲など、自己PRすべき事項等を記載すること。		

※申請に当たり、本人確認ができる以下の公的証明書の写しを添付してください。

- ・運転免許証
- ・各種健康保険証
- ・年金手帳等
- ・パスポート（旅券） など

(様式1 記載要領)

- 1 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 2 「1 就農時における農業経営又は農業従事の態様に関する目標」の「①将来の農業経営の構想」欄には、農業経営（営農）の現状にふれ、必要に応じ現在の営農に至るまでの発展経緯についても記載する。

将来の構想は、目標として掲げる3年後（から5年未満で設定）の主要作目の規模、生産見込み、農産物販売金額の見込み等を記載し、目指すべく農業経営（営農・販売）について記載する。
- 3 「1 就農時における農業経営又は農業従事の態様に関する目標」の「②就農時における目標」欄には、営農希望地は営農を希望する市町村名を記載する。なお、目標は3年後（から5年未満で設定）の目標を記載する。
- 4 「2 実施要領第2の1の（1）ア及びイの認定要件を有する者に関する事項」の「①経歴」欄には、該当する経歴が複数ある場合は、新しい経歴から2つを記載する。
- 5 「2 実施要領第2の1の（1）ア及びイの認定要件を有する者に関する事項」の「②知識及び技能の内容」欄には、「①経歴」において習得した、農業に関連した項目及びその内容を簡潔に記載する。
- 6 「3 1の目標を達成するために必要な農業の技術又は経営方法を実地に習得するための研修その他の就農の準備に関する事項（実施要領第2の1の（2））」の「①過去の農業 教育・研修経験」及び「②現在実施中の農業教育・研修経験」欄には、受講した又は受講中の全ての研修について記載する。
- 7 「3 1の目標を達成するために必要な農業の技術又は経営方法を実地に習得するための研修その他の就農の準備に関する事項（実施要領第2の1の（2））」の「③営農準備状況」欄には、営農にあたっての農業機械等の現在の所有状況のほか、営農するために行った事項を幅広く記載する。
- 8 「4 1の目標を達成するために必要な施設の設置（予定）、機械の購入その他の就農時おいてとるべき措置に関する事項」の「①営農開始のための事業計画」欄には、営農するためにこれから取り組む事項について幅広く記載する。

「規模（能力）・構造等」欄には、機械の型式、性能、台数を記載するとともに、リース（長期）、レンタル（数日）等による場合は、その旨を記載する。
- 9 「5 其他就農関連事項」の「②その他」欄には、営農するうえで、特に自己PRすべき事項、地域活動組織や農業協同組合との関わり方など、地域に入っていくことを視野に入れた方向性を記載する。
- 10 様式2と別添の主要作物作付け体系図を作成し、添付する。